

# 高等学校第2学年 英語科 学習指導案

期 日 平成 25 年 10 月 23 日(水)第 5 校時  
場 所 県立鹿本高等学校 2 年 4 組教室  
指導者 教諭 橋本 勝江

## 1 単元名

「Lesson 6 I'm a Sandwich.」 (MAINSTREAM ENGLISH COURSE II 増進堂)

## 2 単元について

### (1) 単元観

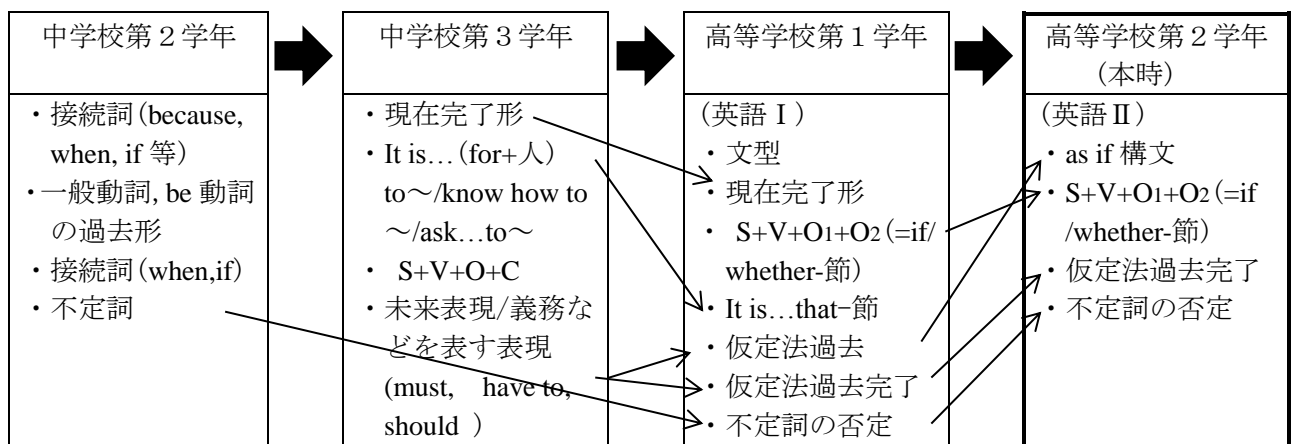
本単元は、『ミニワールド』誌に掲載されたエッセイの一部で構成されている。筆者 Fun Volga 氏は日本企業に勤めるサラリーマンであり、ある日、ドイツから来た客と上司との商談の通訳をすることになるが、上司の言った内容を単に言葉通りに翻訳したためにトラブルになってしまう。これは、筆者が日本独特の婉曲的な言い回しを理解していなかったことが原因であり、異文化コミュニケーションの難しさを考察させる内容である。また、筆者が異なる文化の間でどのようにその橋渡し役を務めてきたかを読み取らせることによって、異文化コミュニケーションの醍醐味をも味わわせることが期待できる題材である。言語面におけるコミュニケーションだけではなく、その背後にある日常生活や風俗習慣を理解しながら、どのようなことに気を付けて異文化交流を進めていけばよいか、さらに、日本の事をどのように発信すればよいかまで、考えを深めさせたい。

本単元は、比較的平易な英文で書かれており、生徒にとって読みやすい文章となっている。時間の流れと登場人物それぞれの発言を正確に把握しながらトラブルの原因を読み取る活動を通して、異文化コミュニケーションの難しさを知り、実際に英語を使用する場面で、適切に表現しようとする態度を育てることが期待できる。

取り扱う主な言語材料は、「as if 構文」及び「仮定法過去完了」、「S+V+O1+O2(=if/whether-節)」、「不定詞の否定」であり、いずれも 1 年時に学習している。これらを確実に習得し活用することで、本文内容を的確に読み取ったり、本単元の内容について英語でまとめたり、また知り得た情報を英語で伝えたりする際の表現を豊かにすることができる。

本単元での言語活動は、内容(1)エ「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く」に当たる。単元のまとめとして、来日する外国人に向けて、日本における快適な滞在のためのアドバイスを英文でまとめて発信する言語活動を行い、論理的思考力・判断力・表現力等の育成を目指す。

### (2) 系統観



### (3) 生徒観

- 校内の定期テストでは平均点が非常に高く、模擬試験等の結果においてもクラスの多くが学年上位に位置しており、総合的に学力が高いクラスであると言える。
- 授業態度は真剣かつ真面目で、英語の予習・復習を主体的に行うことができる生徒がほとんどである。
- 和やかな雰囲気の中でペアやグループ活動を行い、指示された活動に積極的に取り組むことができる。また、他の生徒の発表をよく聞き、お互いに讃えあう場面がよく見られる。

○英語学習についての意識調査の結果 <調査日：平成 25 年 7 月 5 日 調査対象：41 人 単位：%>  
 ア. そう思う           イ. どちらかといえばそう思う   ウ. どちらかといえばそう思わない  
 エ. そう思わない

	アンケート項目(一部抜粋)	ア	イ	ウ	エ
1	英語の学習は好きですか。	35.9	43.6	20.5	0.0
2	話されている英語を聞き取る学習は好きですか。	17.9	41.0	38.5	2.6
3	教科書などに英語で書かれた内容を読み取る学習は好きですか。	30.7	43.6	23.1	2.6
4	自分の伝えたいことを英語で話す学習は好きですか。	12.8	41.1	33.3	12.8
5	自分の伝えたいことを英語で書く学習は好きですか。	20.5	25.7	35.9	17.9
6	英語の学習は大切だと思いますか。	89.7	7.7	0.0	2.6
7	英語を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つと思いますか。	74.3	23.1	2.6	0.0
8	英文を書くとき、文と文とのつながりを考えて書いていますか。	7.7	71.8	20.5	0.0
9	英文を書くとき、その英文を読む人を意識して書いていますか。	7.7	30.6	56.3	5.4
10	英文を書くとき、文をつなぐ語(and, because, if, when などの接続詞)を使うことを意識していますか。	35.9	43.6	17.9	2.6
11	英文を書くとき、代名詞(that, it など)を使うことを意識していますか。	7.7	43.6	41	7.7

7月に実施した意識調査によると、英語学習に対して「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した生徒が全体の約80%であった。また、英語の学習は大切であり社会に出て役立つと思っている生徒の割合は約90%と非常に高い。4技能ごとの調査では、「聞き取る学習」に関しては約74%と高い割合であるのに対し、「話す学習」に関しては「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した生徒は約54%、「書く学習」に関しては約46%と低くなっている。

また、英文を書く際に「英文を読む人を意識して書く」生徒の割合は約38%、代名詞の使用を意識している生徒の割合は約50%であり、接続詞の使用を意識している割合(約80%)と比較してかなり低い。

さらに、「外国の生徒と英語でメールの交換ができるようになったらどうしますか。(自由記述)」という問いに対して、「すぐにメールを書く・誰かの助けがあったらやってみる」と回答した生徒が38%、「友達と一緒にできるならやってみる」と回答した生徒が44%であり、8割近い生徒が英語でメールを書いたりする英語運用能力を身に付けたいと考えている。一方で、「やってみたいけど自信がないからやらない」が約10%、「興味がない・分からない」が約8%であり、約20%の生徒が「書くこと」に自信や興味を持たずにいることが分かる。

【レディネステストの結果(一部抜粋)】<調査日：平成 25 年 10 月 7 日 調査対象：41 人>

1. 日本語の意味にあうように、( )に適切な語を入れなさい。

(1) 彼は私をまるで自分より年下のように扱う。

He treats me ( ) ( ) I ( ) younger than him. (正解者数35人)

(3) 彼女はまるでパリに何度も行ったことがあるかのように、パリについてはなした。

She ( ) about Paris ( ) ( ) she ( ) ( ) there many times. (正解者数19人)

(4) 母は私に窓を開けないようにと言った。

My mother told me ( ) ( ) ( ) the window. (正解者数19人)

2. ( )内に適切な語(句)を下から選び、記号で答えなさい。

Every language has borrowed words from other languages. ( 正解者数 38 人 ), the Japanese word *cha* is Cantonese in origin. It is interesting to note that *chai*, or the milk tea of India, also has its origin in Cantonese. ( 正解者数 34 人 ) example is the English word *tea*. Its origin can be traced back to another dialect of Chinese. ( 正解者数 36 人 ), both the roots of *cha* and *tea* are in China.

ア. Because   イ. Another   ウ. For example   エ. next   オ So

○レディネステストの結果を見ると、既習事項の as if 構文は、ある程度の定着が見られたが、不定詞の否定では、not の位置に誤りがあったり、文(S + V～)を挿入したりする誤答が見られる。ディスコースマーカーについては、基本的なものに関してはその役割を理解していることが分かる。

(4) 指導観

- 異文化コミュニケーションの難しさを考察できる題材である。本文で扱われるのは、言語面におけるコミュニケーションであるが、その背後にある日常生活や風俗習慣を理解した上で、どのようなことに気を付けて異文化交流を進めればよいかを考えさせたい。
- 日常よく使っている日本語のフレーズに対する英語での的確な表現を考えさせたり、異文化について考えさせたりするなど、積極的に書いたり話したりする言語活動を行い、適切に表現しようとする態度を育成したい。
- 取り扱う言語材料は既習のものであるが、定着していない生徒も見られるため、十分に復習をしながら本文を読み進めさせたい。
- 内容の一貫性や接続詞の適切な使用を意識させるとともに、読み手を意識して説得力のある文章にするための工夫を考え、改善する活動を行うことで、論理的に表現する力を育成したい。
- 自分の考えや思いを、聞き手や読み手を意識しながら発信する言語使用場面を設ける。取り扱う言語材料を実際に活用してコミュニケーションを図るこの活動を通して、授業を実際のコミュニケーションの場とする。
- お互いの文章を読み、示された視点に沿って評価・改善し合う活動を通して、思考の過程を見取りたい。
- お互いを認め合える穏やかな雰囲気を活用して、ペアやグループでの学び合いの学習を中心に言語活動を行う。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
<p>【視点1】 本単元では、学習課題の解決に向けて、お互いに意見・考えを伝え合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかかわり合いのある授業を目指す。また、表現した英文を、説得力のある英文にするための視点に沿ってお互いに評価・改善する活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成する。</p>	<p>【視点2】 本単元では、より説得力あるものにするためのポイントを基に、お互いの英文を評価・改善する活動を通して、生徒の思考の過程を可視化し評価する。さらに、文構造等の誤りだけではなく、まとまりのある英文を書くための知識や技術を習得しているかを評価し、指導の改善につなげる。</p>	<p>【視点3】 本単元では、英文を書くための情報を収集させるために、絵や写真、数値などを提示したり、インターネット等を活用させたりするなど、主体的な情報活用を促すための授業を目指す。また、より論理的な文を書くために、集めた材料を分類・整理しながら工夫する言語活動を取り入れ、生徒の情報活用能力の育成を図る。</p>

3 単元の目標と評価規準(参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」)

単元の目標	<p>○登場人物の言葉や気持ちを的確に把握し、本文の内容を正しく理解することができる。</p> <p>○読んだことに基づき、読み手を意識しディスコースマーカーを適切に用いながら、まとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>○as if 構文、仮定法過去完了、S+V+O1+O2(=if/whether-節)、不定詞の否定の文構造・意味・用法を理解することができる。</p>
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<p>①「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>②「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</p>
外国語表現の能力	<p>本文内容や調べたり聞いたりして獲得した情報を基に、自分の意見・考えをまとまりのある文章で書くことができる。</p>
外国語理解の能力	<p>時間の流れと登場人物のそれぞれの発言を正確に把握しながら本文の内容を理解することができる。</p>

言語や文化についての知識・理解	as if 構文, 仮定法過去完了, S+V+O1+O2(=if/whether-節), 不定詞の否定の文構造・意味・用法を理解することができる。
-----------------	---

4 指導・評価の計画(6時間扱い 本時6/6)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【三つの視点から】	評価の観点(評価方法) B 基準
1	1	<p>○「お邪魔しました。」などの日本独特の会話表現を、英語で考え表現させる。</p> <p>○Express Your Opinions 留学生 Becky が自分の家にホームステイすることになったと仮定し、質問に答える。(次時以降同じ)</p> <p>①What kind of food will you serve Becky and why?</p> <p>○Part 1 の内容を読み取り、内容に関する Q&amp;A を行う。</p> <p>○as if 構文の構造・意味・用法を理解する。</p>	<p>・日本と西洋の表現の仕方に違いがあることを伝え、文字通りに翻訳すると意味が通じなくなることに気付かせる。</p> <p>【視点1】グループでお互いの意見・考えを伝え合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかわり合いを持たせる。</p> <p>・筆者の仕事を把握させ、自分の立場をどのようにたどっているかを中心に、内容を理解させる。</p>	<p>外国語理解の能力(ワークシート・ノート)</p> <p>登場人物の言葉、気持ちを的確に把握し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。</p> <p>知識・理解(ワークシート)</p> <p>as if 構文の文構造・意味・用法を理解し、簡単な英文を書くことができる。</p>
2	2	<p>○Express Your Opinions ②Where in Kumamoto /some places in Japan will you take her and why?</p> <p>○Part 2 の内容を読み取り、内容に関する Q&amp;A を行う。</p>	<p>【視点1】グループでお互いの意見・考えを伝え合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかわり合いを持たせる。</p> <p>・時間の流れと登場人物それぞれの発言を正確に把握させる。</p>	<p>関心・意欲・態度①(ワークシート・観察)</p> <p>ペアで、お互いに意見・考えを伝え合う活動を積極的に行っている。</p> <p>外国語理解の能力(ワークシート・ノート)</p> <p>登場人物の言葉や気持ちを的確に把握し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。</p>
	3	<p>○Express Your Opinions ③Tell her at least 2 things that she should do/should not do in daily life in Japan.</p> <p>○Part 3 の内容を読み取り、内容に関する Q&amp;A を行う。</p> <p>○不定詞の否定の文構造・意味・用法を理解する。</p>	<p>【視点3】写真や絵を提示したり、ALT の失敗談などを紹介したりして、主体的に情報を収集・整理できるようにする。</p> <p>【視点1】グループでお互いの意見・考えを出し合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかわり合いを持たせる。</p> <p>・ハンスはなぜ怒ってしまったのかを中心に、その理由を考えさせる。</p> <p>・不定詞の否定の意味と用法を、例文を数多く提示することで理解させる。</p>	<p>外国語理解の能力(ワークシート・ノート)</p> <p>本文の内容を理解し、内容に関する英問を作ったり、英問に答えたりすることができる。</p> <p>知識・理解(ワークシート・ノート) 不定詞の否定の文構造・意味・用法を理解し、簡単な英文を書くことができる。</p>

4	<p>○Express Your Opinions ④Introduce her something cool/nice in Japan.</p> <p>○Part 4 の内容を読み取り、内容に関する Q&amp;A を行う。 ○仮定法過去完了の文構造・意味・用法を理解する。</p>	<p>【視点1】 ペアでお互いの意見・考えを出し合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかわり合いを持たせる。</p> <p>・トラブルの原因を読みとらせる。 ・演習問題を通して、仮定法過去完了の使い方に慣れさせる。</p>	<p>関心・意欲・態度(ワークシート・観察) ペアで、お互いに意見・考えを伝え合う活動を積極的に行っている。 関心・意欲・態度②(ワークシート・ノート・観察) 必要に応じて辞書などを活用して意欲的に読んでいる。</p>
	<p>○Express Your Opinions ⑤Tell her some useful / interesting Japanese words / phrases. And explain how to use them.</p> <p>○Part 5 の内容を読み取り、内容に関する Q&amp;A を行う。</p> <p>○S+V+O1+O2 (=if/whether-節)の文構造・意味・用法を理解する。</p>	<p>【視点1】 お互いに意見・考えを伝え合い、発想を広げる活動を通して、豊かなかわり合いを持たせる。</p> <p>【視点1】 どのようなことに注意していれば、こうしたトラブルが避けられたかを、グループで話し合わせる。 ・第4文型の文構造を理解し、直接目的語が if/whether-節になる文に慣れさせる。</p>	<p>外国語理解の能力(ワークシート・ノート) 筆者がこのトラブルをどのように解決し、取引は最終的にどうなったかを、英文でまとめることができる。 知識・理解(ワークシート・ノート) S+V+O1+O2 (=if/whether-節)の文の構造・用法を正しく理解し、例示された英文の意味を理解することができる。</p>
3	<p>6 (本時)</p> <p>○本文全体の概要を再度把握する。 ○Express Your Opinions を基に、来日する外国からの旅行者がよりよい滞在ができるようにアドバイスする文章を、生徒同士で評価・改善し、リライトする。 ○リライトした文章を発表する。</p>	<p>・本文全体の概要を再度把握し、異文化コミュニケーションの難しさを再確認する。 【視点1・2】 グループで話し合いながら、提示された視点を基に評価し、改善のためのアドバイスを考えさせる。</p>	<p>外国語表現の能力(ワークシート) クラスメートからのアドバイスを受け、まとまりのある英文にするためにディスコースマーカ―や代名詞等を適切に使いながら、6文以上の英文を書くことができる。</p>

## 5 本時の学習

### (1) 目標

文化の違いを意識しながら、快適な日本滞在のためのアドバイスを、6文以上のまとまりのある英文で書くことができる。

### (2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
導入 15分	<p>1 Review of Lesson 6</p> <p>(1) 本単元の内容を簡単に振り返る。 (2) 本文の要約文を完成させる。 (3) 要約文を音読する。</p> <p>2 Express Your Opinions 本時のトピックについて</p>	<p>○Let's review Lesson 6.</p> <p>○Fill in the blanks and complete the summary.</p> <p>○Repeat after me.</p> <p>○Get in pairs, and ask</p>	<p>○元気よく挨拶し意欲的に授業に取り組む雰囲気を作る。</p> <p>○本単元の内容を振り返りながら、異文化コミュニケーションの難しさを再確認させる。 ○ペアで協働学習をさせる。</p> <p>○相手の話に対して質問したり、感</p>	<p>ワークシート</p> <p>パワーポイント資料</p> <p>ワーク</p>

	<p>ての自分の意見をペアで伝え合い、お互いに質問をし合って考えを深める。</p> <p>Today's Topic: "Where do you want to take foreign people except Tokyo and why?"</p>	<p>your partner's opinions about the today's topic.</p>	<p>想を伝えたりするよう働きかける。</p> <p><b>【視点1】</b> ペアで本日のトピックに関しての意見を伝えたり、質問したりしながら考えを深めさせる。</p>	<p>シート</p>
<p>展開 30分</p>	<p>3 Class Journal Writing</p> <p>(1) 英文を相手ペアに渡し、ピア・フィードバックの視点に基づいて相互評価を行い、よりまとまりのある英文にするためのアドバイスを考えることを通して、論理的思考力等を育成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【言語活動】</b> お互いの英文を、視点を基に評価し、より分かりやすい英文にするためのアドバイスを考えることを通して、論理的思考力等を育成する。</p> </div> <p>(2) 相手ペアの評価やアドバイスを基に自分の英文をリライトする。</p>	<p>○Make a group of four, and give some constructive advice to the other pair to make their journal better.</p> <p>○Keep in mind some feedback points while giving the advice.</p> <p>○Make the best use of the advice you've received, and rewrite your journal to make it better.</p>	<p>○ミスをチェックするだけではなく、視点を基により分かりやすい英文にするためのアドバイスを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈ピア・フィードバックの視点〉</p> <p>①トピックセンテンスで始めているか。</p> <p>②代名詞・接続詞・ディスコースマーカ―を適切に使っているか。</p> <p>③自分の意見や感想を述べているか。</p> <p>④理由・補足の文・具体例を入れているか。</p> <p>⑤全体としてまとまりのある流れになっているか。</p> </div> <p><b>【視点1・2】</b> グループで話し合いながら、提示された視点を基に評価し、改善のためのアドバイスを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価：外国語表現の能力(ワークシート)</p> <p><b>B基準</b> アドバイスを基に、ディスコースマーカ―や代名詞等を適切に使いながら、6文以上の英文を書くことができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>A基準</b> アドバイスを基に、新たな表現を付け加えながら、ディスコースマーカ―や代名詞等を適切に使い、7文以上の英文を書くことができる。</p> <p>〈B基準に達していない生徒への手立て〉 グループの中で協働学習をさせたり、個別支援をしたりする。</p> <p>○発表する生徒の英文のどこが良いかを紹介する。(生徒による評価及び教師による評価)</p> </div>	<p>課題 シート</p>
<p>整理 5分</p>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) グループの代表が発表する。</p> <p>(2) 次の学習内容を知る。</p>	<p>○Would you read your journal?</p> <p>○Give some comments to the presenter.</p>		